

新任薬剤師研修会を終えて。

横浜医療センター 薬剤科 橋本 章吾

出身大学：明治薬科大学（平成26年）

興味のある分野：がん領域

平成26年3月に大学を卒業し、同年4月より国立病院機構横浜医療センターに薬剤師として採用となりました。業務に少し慣れてきたかなと思う頃に、また新しい業務を教えていただき毎日が充実しております。そんな中で、私は第18回新任薬剤師研修会に参加させていただきました。

新任薬剤師研修会は前半において、「病院薬剤師としての自覚」、「チーム医療とは（他職種の視点より）」、「チーム医療とは（薬剤師の視点より）」、「医療安全とは」についての講演が行われ、後半にはグループ研修が行われました。

「病院薬剤師としての自覚」では、まず社会人として必要な事を多く学ばせていただいたと思います。実務実習を行っていた時とは違い、自らの責任で業務を行う事や、病院、薬剤科そしてチーム医療において、自己の立ち位置を感じ、指示や役割を理解して業務を行う事が社会人として、組織の一員になるという事でした。その上で、自分から当事者として積極的に関わっていく事や、報・連・相の重要性を教えていただき、自分の働き方を見直す良い機会になったと思います。

「チーム医療とは」では主にICTについて学ばせていただきました。アプローチの質の向上のためには、互いに他職種を尊敬する事の大切さや、職種毎の視点を探す事が必要だという事でした。また、挨拶で薬事専門職の前田先生も言われていましたが、チームとして動くためや、病棟へ上がる際にも他の薬剤科員が居るからこそ出来る事であり、感謝を忘れてはいけないという事や、それもまたチームであるという事を考えさせられ、当たり前ではないのだという事を痛感しました。

「医療安全とは」では、インシデントの発生数

やその対策、研究について学ばせていただきました。恥ずかしながら医薬品の安全使用の業務手順書について初めて聞きましたが、研修会後にすぐ見ることが出来て良かったと思います。

後半のグループ研修では、コンセンサスゲームというものをやりました。砂漠に飛行機が不時着してしまったという現在の条件に対して、持っている物の必要性に順位を付けて生き残るためにはどうするかというものでした。企業等を受けた方はやったことがあったそうですが、私は初めてでした。「こうすればいいんじゃないか」と思っている、それとは真逆の意見が出たり、自分では思いつかなかったような道具の使い方など、様々な意見が出てきて、意見の選択の難しさや、前半の講義で学んだような「それぞれの視点」がどれほど重要なものか、非常に実感できたと思います。そして、私はグループで出した結論よりも悪い結果だったため、討議の大切さや人の意見を聞き入れる柔軟さの重要性も実感する事が出来ました。

今回の研修会では、様々な講義や討議を通して他施設の先生方と意見交換をすることが出来て、非常に勉強になりました。今後は、今回の研修で得られた事を業務に活かしつつ、私を指導して下さっている先生方のように頼れる薬剤師になれるよう努めたいと思います。

最後になりますが、本研修を企画・運営してくださった先生方、ご講演いただいた先生方、研修に参加させてくださった横浜医療センターの先生方、意見交換をして下さった先生方に厚く御礼申し上げます。